

1 経営方針

教育目標：長洲愛・高めあい 教育文化あふれる長洲中の創造

- 1 校長を中心とした指導体制のもと知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を図る。
- 2 教職員としての使命感と授業力・指導力の向上を図る。
- 3 教育課程の実施において、教育活動の量的確保と質的改善を図る。
- 4 コミュニティ・スクールの推進に努め、体験活動を通して心豊かな生徒の育成を図る。
- 5 教育の場にふさわしい環境づくりを図る。

2 努力点

- 確かな学力の育成・・・基礎基本の定着、自ら学ぶ態度の育成
- 互いに支え、高めあう集団の育成・・・生徒会活動・学級活動の活性化、いじめ、不登校の未然防止・早期対応・早期解消、さわやかなあいさつができる学校づくり
- 健全な体の育成と学習環境の整備・充実・・・地域行事へ積極的参加

◎評定基準 A・・・【十分適切である】、B・・・【おおむね適切である】、C・・・【課題がある】、D・・・【課題が多く速やかな改善が必要】

3 自己評価結果

自己評価結果						長洲中をより一層よくする会	
分野・領域	評価項目	主な取組状況	達成状況	評価	来年度の改善方策	評価	意見等
教育目標	学校は、教育目標や方針を保護者や地域にわかりやすく伝えているか	学校便り、各学級便り、HPの充実 授業参観やPTAの各種行事で説明と周知徹底 教職員全員で長洲中を創るという意識の元、連携を密にした諸職務の遂行	生徒の活躍の様子等は、学校便り、学級便りで積極的に知らせた。特にHPは前期末に11万回のアカウント数が後期末では14万回を突破した。	A	今年度の取組を更に継続・充実させる。 新学習指導要領に合わせた指導計画書等の改善を図る。 報・連・相を更に徹底し、組織として行動する。	A	HPの14万件突破や各種便りが充実し、教育目標の周知徹底については言うことがないのではないかと。
	長洲中の組織の一員として、教育活動に取り組んでいるか						
学習指導	生徒が共働・協調する能動的授業を行っているか	生徒がお互いに高め合う活動や学びの振り返りの充実	職員全員授業研による授業改善に取り組んだ。生徒による授業研究会では高めあう態度について議論したり、朝自習徹底週間の朝自習では生徒同士で教え合いと高めあいを実施した。教室に入れない生徒に対応する職員による支援と個別指導の充実を図った。	B	授業改善を継続し、生徒が主体的に取り組む分りやすい授業を目指すと共に、生徒一人一人への対応及び評価の改善を図る。	A	今の先生たちは子どもにもよく寄り添ってくれる。3年生の受験進学状況を見て、不登校の生徒も含め生徒一人一人の進路を保障できている。これらは本人の努力はもちろんだが、先生たちの努力もあるのではないかと。
	反復学習や再テストなど基礎・基本の徹底指導ができているか	基礎基本徹底週間による徹底した反復学習の実施		A	授業での教え合いと高め合いの習慣を早期に身に付けさせ、反復による学習内容の定着や生徒による授業研究会などを通して学力の向上を図る。		
	一人一人の努力や能力に応じた評価を行っているか	教室に入れない生徒への対応など個別指導の充実		A			
学校行事	体育大会や文化・学習発表会などの学校行事を、充実させているか	生徒のリーダーシップを活かす行事になるよう事前の準備、支援の充実と場の確保 各行事計画の見直しと改善	本年度は文化学習発表会が1日早まったため、各学年で以前までの計画を修正した。そして、生徒が努力したり、協力したりする時間と場を確保するように努めた。文化学習発表会や校内駅伝大会では、各学年・学級ごとに計画的かつ意欲を持って取り組み保護者や地域から賞賛の声をいただいた。	A	今後とも生徒リーダーを中心に、全生徒が動ける体制を整えるとともに、より充実した取組となるようにする。	AA	Aでなく、Sでもよいのではないかとと思うくらいに各行事が充実している。また、合唱コンクールなどの行事で指揮者やパトリダーを経験することにより生徒が逞しくなっていると思う。
	学校や社会のルールやマナーを守る態度を育てているか	生徒指導努力事項の共通理解、連携と実践	毎週生徒指導部会を時間割に設定し、職員相互の理解と即時対応に努めた。荒尾警察署から講師を呼び、スマホの扱いについて講話を行った。不登校傾向の生徒、特別な支援が必要な生徒には、学年部を中心として複数の教員での家庭訪問の実施により学校全体で対応した。また、保護者や専門機関と連携して支援を行った。	A	情緒学級が新設されるため、担任、生徒指導部、特別支援教育コーディネーターを中心に、SC・SSW専門機関との連携を図りながら生徒個人個人への支援を続けていく。スマホ等の扱いについても生徒指導講話や情報モラル等の啓発活動も工夫して進める。	A	学校評価の生徒アンケートでスマホ等の取扱について一部課題は見られるが、生徒の落ち着いた生活ぶりもあり、3項目のトータルではAだと思う。
生徒指導	携帯電話やインターネットのルールやマナーを守る態度を育てているか	生徒会情報モラルルールの保護者への啓発および生徒の指導心のアンケートや教育相談の実施		B			
	子どものよさを見つけ、理解しようとしているか			A			
人権教育	いじめや差別のない集団づくりを行っているか	学級や学年での取組の充実、教育相談の計画的実施	人権学習の授業参観を核として人権意識の涵養を図った。人権子ども集会に参加した生徒による人権集会も実施した。また、教育相談や心のアンケート等を活用とともに、生徒の言動に気をつけ、職員間で情報を共有しながら、いじめ等の問題の早期発見、即時対応に取り組んだ。	A	いじめは必ず起こるものという認識のもと、いじめの重大事態の変更を受けて早期発見と丁寧で素早い対応を行うことを更に徹底する。また、人権に関する意識を教育活動全体で涵養し、人権集会や人権講演会、公開授業を実施する。	A	アンケート等の充実もあり、いじめと疑われる事案にも適切に対応してもらっていると思う。今後も人権集会などを活用し、生徒の人権感覚を磨いてほしい。
	生徒や保護者からの相談に対して、すぐに対応しているか	生徒会情報モラルルールの保護者への啓発および生徒の指導心のアンケートや教育相談の実施		A			
道徳・心の教育	道徳の授業をきちんと行っているか(担任のみ)	対話的で深い学びとなるような授業の改善及び実践	道徳教育推進教師を中心として学習指導要領の改訂に係わる道徳科の復習や研修を複数回行い、共通理解を深めた。生徒会を中心に挨拶運動や学校全体で行うボランティア活動を新設するなど充実を図った。	B	道徳の教科化に対する校内研修とローテーション授業を充実させる。	A	毎朝、見守り隊で見ているが、長洲中の生徒は自分からよく挨拶をする。しっかり顔を見て挨拶をする子どももいる。道徳科の研修も多くのことで来年度からしっかり対応されたいと思う。
	自分から挨拶ができる態度を育てているか	挨拶の仕方、機会の充実、講演会や職場体験、AHS活動		A	生徒会を中心とした挨拶運動やボランティア活動の充実を図る。		
教育環境	掃除や整理整頓が行き届いた、美しい環境を整備しているか	無音清掃、縦割りによる掃除班 ボランティア委員会を中心とした活動、学校版環境ISOの実践	掃除リーダーを中心に生徒全員で無音清掃に取り組むとともに、生徒会やボランティア委員会による清掃活動が行われた。言語環境に於いては、生徒による授業研究会での意識づけをはじめ、授業中の言語環境の改善を行った。	A	掃除リーダーの育成と隅々まで掃除に取り組む態度を養う。また、学校版環境ISOの生徒への一層の周知を図る。	A	多くの生徒が朝から清掃活動をする姿をよく見ている。また、海岸清掃など学校の外の掃除も新設され期待している。言語環境については先輩後輩などの上下関係を意識した言葉遣いを指導して欲しい。
	望ましい言語環境を整えているか	学校生活全般での言語活動の充実		A	授業改善と教師の言語活動の活性化を学校組織全般で取り組む。		
安全管理	交通事故防止や不審者対策など、子どもたちの安全対策を行っているか	避難訓練(火事、地震津波、不審者)等、安全教育的充実を図る	地域と共に行う地域協働避難訓練、火災避難訓練など円滑に実施できた。月1回の安全点検日に安全点検を一齐に行い、修繕等対応した。情報管理は校内研修でUSB盗難でどのような事態となるかを職員同士確認した。	A	防災主任を中心として、生徒や職員の危機管理意識を向上のため、地域協働避難訓練をはじめ、より現実的な避難訓練を実施する。	A	地域協働避難訓練は3年目となるが、熊本地震の例もあり、単なる慣例行事となつてはならない。常に真剣に取り組む。もしものときに生徒が対応できるように指導して欲しい。
	月に一度の安全点検をきちんと行っているか	月一度の安全点検と危機管理マニュアルの見直し		A	防災や安全に関する校内研修を年度当初に実施する。		
	個人情報の管理をきちんと行っているか	地域協働避難訓練の実施		A	安全点検や個人情報の管理についても確実に実施する。		
保健管理	体力向上に向けての取り組みを行っているか	給食指導による栄養管理と教科体育を中心に体力作りを行う。	教科体育や部活動等で体力向上を図るとともに、校内駅伝大会に向けて各学級で練習を重ねて体力向上を図った。また、マイ弁当の日を設けて食育についての関心や理解を深めた。	A	今後とも体力向上や健康管理に関する意識向上に向けた取り組みを進めていく。	A	マイ弁当の日の取組はとても良い。日数を増やしても良いと思う。また、部活動も国の指針が出たことを受けて適切に対応して欲しい。
保護者・地域住民との連携	食事や睡眠など、子どもの健康に対する意識を育てているか	給食指導による栄養管理と教科体育を中心に体力作りを行う。		A	養護教諭を中心にフットボールをはじめ、保健管理を徹底させる。		
	家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めているか	PTA活動、学年PTA、AHS活動、職場訪問の充実と地域行事への参加	PTAの各係活動が充実し、行事等で多くの保護者の参加や協力を得た。1年生の職場訪問や地域の方との調理実習、習字指導など充実した学習ができた。	A	定例の役員会の充実を図り、保護者の意見の集約に努める。	A	地域コーディネーターが本当によく頑張っているようだ。今後も連携を密にして各活動を活性化して欲しい。
情報の公開・発信	保護者や地域の相談などに適切に対応しているか			A	今後とも地域行事を協力するだけでなく参画するよう意志を高めた。		
				A	職場体験学習など地域コーディネーターとの連携を更に密にする。		
キャリア教育	学校HPのアクセス数は、累計14万を超えた。学校便りを始め、毎日学級通信を出している学級もあり、各種便りが充実した。安心安全メールの積極的な活用を行い、ほぼ全ての保護者に入ってもらい、連絡網の代わりとなっている。			A	学校HP、学校便り、学級便り等今後も継続・充実させると共に、安心安全メールの積極活用を進める。	A	情報の発信については言うことはない。安心安全メールによる連絡も細かく対応されていると思う。
	進路に関する情報をわかりやすく知らせているか	各学年における進路学習の充実	各学年とも総合的な学習では地域コーディネーターの活躍により地域の協力、町の魅力を多く得られて、進路学習をはじめ、生徒は多くの経験ができた。それにより将来の進路への関心を高めることができた。	A	各学年で、自分の進路についての適切な学習や情報の提供を行う。	A	今後とも職場訪問や立止式などキャリア教育の充実を図り、高校などの情報を各学年に合わせて適切に指導し、生徒一人一人の進路を確実に保障してほしい。
部活動	生徒に望ましい職業観や勤労観を育む指導を行っているか	職場訪問(1年)、夢の教室、立止式の実施		B	夢先生授業などを活用し、生徒に夢や目標を考えさせる機会と場を増やす。		
	適正な部活動の組織と運営を行っているか	ノー部活動デーの実施、下校時刻の改訂と遵守	冬季部活動終了時刻を見直し、下校時間を早めながらも、外部指導者とともに適切な指導を実施した。	A	部活動の活動日数、活動時間等の見直しと下校時の安全対策を充実させる。	A	部活動にのめり込みすぎるのはどうかと思う。ノー部活動デーは週1回確実にとられているかを確認しながら国の指針を守って欲しい。
不祥事防止	不祥事防止を常に意識して行動できているか	不祥事新聞報道の周知 交通安全の意識を高める。 懇親会等確認表の記入	職員全員が、自身の職責の重さを痛感し、交通事故防止をはじめとする不祥事を起こしてはならないという研修を行った。	C	今後とも校内研修等での不祥事防止研修の充実を図り、仕事等に余裕を持ち、絶対に不祥事を起こしてはならないという意識を共有する。	C	熊でも事故は起こりえるが、もし起こした場合、子どもとの信頼関係など失うものが多すぎる。起こさないためにはどうすればよいかを常に問いかけながら指導に当たってほしい。